



Start



大更駅前のにぎわい創出や交流拠点づくりに向け引き続き取り組む(はちマルシェ2024、6年10月19日)

令 和7年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのことと、心よりお喜びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、かねてより進めてまいりました(仮称)大更駅前顔づくり施設が7年度の完成に向けて工事に着手したほか、市と金融機関などが出資し、全国で初めて、地熱発電所の電源を核とした地域新電力会社(株)はちまんたいジオパワー」を設立しました。市内3カ所

【新年のあいさつ】



地域新電力会社を設立。再生可能エネルギーの地産地消を進める(株)はちまんたいジオパワー設立式、6年7月23日)

目の地熱発電所となる安比地熱発電所も稼働を開始するなど、地熱エネルギーの地産地消、地域経済の循環、地域の脱炭素化の実現に向けて大きく進展する年になったと感じています。また、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられてから、1年以上が経過し、イベントや地域行事が再開され、地域も交流が盛んになってきました。市民の皆さま、各団体の皆さまのご尽力に感謝申し上げます。

本市は今年、市政運営の基本となる第2次八幡平市総合計画基本構想



子どもたちの元気な声がまちに戻る(大泉院子安地蔵尊祭典「稚児行列」、6年7月23日)

および後期基本計画が最終年を迎えます。第3次総合計画の策定に向け、昨年は、市民の皆さまから地域の現状・課題、そしてこれからの八幡平市のために何をすべきかご意見を伺ってきました。

本年は、合併20周年という節目の年です。引き続き皆さまの声を聴きながら、八幡平市の市勢発展のためにさらなる一歩を踏み出してまいります。

結びに、新年の門出にあたり、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。



行政と生産者が連携し、リンダウの品種開発や品質維持に取り組む(一斉ほ場巡回指導会、6年7月5日)